

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう!》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2012/09/10 集計 +オンライン署名増加分 = **7,860,714** 筆になっています。1000 万筆達成まで続けられます。一人また一人へと、呼び掛けを続けましょう!

【脱原発基本法】制定への道―未来を守る確かな知恵!―

福島原発事故から一年半。この間、定期的な大規模デモは国民的世論を喚起し、大小の集会は問題の所在を明確にしつつ市民の中に豊富な知識の蓄積を残しました。今、これまでの努力を土台にして、日本が二度と原発惨事を起こさないための具体策を講じる時を迎えています。月刊誌『世界』(10月号)には、《原発を止めるための五つの方法》が挙げられています。

その①…「パブリックコメントで周知された政府のエネルギー政策で、国民の約87%が選択した原発ゼロ・シナリオを実行する」方法です。これは2030年までとされており、その間に大地震があるかもしれません。政権交代による路線変更の恐れもあり、期待できません。

その②…「新たに設置された原子力規制委員会によって原発を止める」方法がありますが、この初代委員長に任命された田中俊一さんは元原発推進派の人ですから、期待できません。

その③…「裁判を通じて原発の設置許可の取り消し・運転の差し止めを求める」方法。既に、脱原発弁護団全国連絡会が全国のほぼ全ての原発を対象に訴訟中。裁判は長期戦です。

その④…「地方自治体が、原子力安全協定に基づく“同意権”を使って運転再開に反対をしたり、地方議会で原発廃炉等を決議する」方法。静岡県では、これによって浜岡原発を巡る県民投票を実施。地域限定の対策です。

その⑤…「立法府である国会で、脱原発法を制定し、国が永遠に原発を禁止する」方法。これこそは、未来を守る確かな知恵だと思います。

8月22日、脱原発法の制定を目標にして「脱原発法制定全国ネットワーク」(代表・大江健三郎さん他)が誕生したことは、本紙38号にも紹介した通りです。

このネットワークが、9月7日(金)午前、衆議院事務総長に、全9条から成る『脱原発基本法案』を提出しました。

通常国会は9月8日が会期末。とにかくこの法案を継続審議に持ち込むためには、今のタイミングを逃してはならないとの前提で、13名の提出者(新党「国民の生活が第一」・社民党・新党さすな・減税日本・新党改革・新党大地・真民主の6党派)によって23名の賛成者を得、「やつとの思いで」提出に漕ぎつけたとのこと。

衆議院の解散・総選挙が近いという状況下。選挙では、『脱原発基本法案』を最大の争点に掲げ、選挙後はこれに賛同する議員で超党派の「脱原発連立政権」を作り、次の国会での法案成立を目指す、という構想です。

9月8日、賛同する議員が衆議院で43名、参議院で24名増加。賛成議員数は合計103名となり、その後も増え続けています。私達が求めた歴史の変革の大きなうねり!支援する私達の更なる努力が不可欠です。隣人に法律の早期制定への協力を訴えましょう!

脱原発法制定全国ネットワークの連絡先

●さくら共同法律事務所(代表・河合弘之)

(Tel) 03・5511・4386

(Fax) 03・5511・4411

(朝の教室)『脱原発とあたらしい経済』・講師:金子勝さん(経済学者)

9月29日(土) 9:00~10:30/会場:・クレヨンハウス(表参道駅より2分)/参加費:1000円
申し込み予約:TEL・03-3406-6465 《原発に頼らなくても経済成長は出来る!》

9月30日(日) ツイッター有志による反原発デモ@渋谷・原宿 《第13回》

15時集合・16時出発予定/集合場所・宮下公園北側(渋谷駅から徒歩約5分)

詳細は、<<http://twitnonukes.blogspot.com/>> 及び、@TwitNoNukes >までどうぞ。

東京都町田市・「放射能市民測定室」設置のための募金(目標額400万円)は、9/8現在、1,602,726円のご協力を頂いています。ありがとうございます! /振込先:【ゆうちょ銀行・普通 00180-3-418087・町田放射能市民測定室】 /問い合わせ先:Tel&FAX 042-721-0810(瀬尾)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。